

神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和5年度 第3回みどり支援学校運営協議会		
開催日時	令和6年2月20日(水)10:00~11:30		
開催場所	みどり支援学校 会議室		
出席者	神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会委員7名(本校校長を含む) 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会事務局教職員 10名		
次回開催予定日			
問い合わせ先	みどり支援学校 副校長 菅原 肇 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>会長挨拶</li> <li>校長挨拶</li> <li>本日の流れ</li> <li>学校評価部会             <ul style="list-style-type: none"> <li>○総括評価(①教育課程学習指導②児童生徒指導支援③進路指導支援④地域等との協働⑤学校管理学校運営)</li> <li>○学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価及び令和6年度以降のグランドデザインについて</li> </ul> </li> <li>事務連絡</li> <li>学校長挨拶</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>会長挨拶(会長より)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度1年間の評価ということで学校の説明を聞く。</li> <li>・4年間の目標の設定途中で意見をいただきたい。</li> </ul> </li> <li>校長挨拶             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今度の総括評価のご意見をいただき、来年度からのグランドデザインをお示しいたい。</li> <li>・御意見をいただいて、来年度以降に生かしていきたい。</li> </ul> </li> <li>本日の流れ</li> <li>学校評価部会             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総括評価</li> <li>(1) 教育課程学習指導                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① キャリア教育の視点を大切にして、学習内容の見直しを図る。</li> <li>② アセスメントを実施して個に応じた「わかる授業」を実践する。</li> <li>・教務企画:シラバスの作成と子どもたちの学びを整理してきた。</li> <li>シラバスの研究と実際に行なうことで検証を行ってきた。</li> <li>・小学部 :3観点を入れた単元指導案の活用、アセスメントの実施</li> <li>・中学部 :全生徒を対象にアセスメントを行い、同じ観点で検討して指導に生かす</li> </ul> </li> <li>(2)児童・生徒指導・支援                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒が生き生きと活動し、自主性を重んじる集団授業作りを実践する。</li> <li>・高等部 :指導の実際の説明(学習発表会)</li> <li>:保護者からの評価も高かった。</li> <li>・分教室 :指導の実際の説明(学習発表会)</li> <li>:不登校の生徒にも役割を作り、評価してもらうことで登校につながった。</li> <li>:保護者からの評価も高かった。</li> <li>:生徒にもフィードバックをして意見を次年度に生かしていく。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> <p>【質疑応答】</p> <p>A:分教室の発表の場所は? 学校: 新栄高校の体育館</p> <p>B: 縦割りの意味は? 学校: 1~3年生までのメンバーを分ける。自分で選んで自主性を尊重する。生徒が</p>		

審議(会議)経過

望んだものを行う。先輩と後輩との関係性に期待するだけでなく、得意なものを持っている生徒もいるので、様々な関係性が期待できる。

C:3観点のやりやすさ、資質能力を教職員が意識していく必要がある。授業を行うときに、子どもの言葉で言い換えていく必要がある。みどり支援の「一人ひとりを大切にすること」が実践されている評価。子どもたちが自分のなりたい像を意識させていくのが難しい。教員の思い(目標)をどのように子どもたちに考え意識させていくのか？

学校: 実際の体験をしていく中で、働いている人たちを見て目標としていくことができる。具体的な目標、周りの見本が大事になる。

A:学習指導要領の下位目標も検討していくのが大事。みどりの研究で行っている。3観点をどのように具体的に身につけさせていく、どう考えるか、どう判断するか、どのように行動するか、どのように学んでいくか等を目標にしていくことが大事。アセスメントはただ評価するだけではなく、どのように授業に生かしていくかを考えていくのが大事。

D:先生方は家庭の話聞いてくれて、対応してくれている。進路で違うところに行っても取り組めるようにしてくれている。(場に応じた)縦割りの中で友達や先輩から学ぶことがある。

(3) 進路指導・支援

① 自立と社会参加に向けた授業を通して、社会の一員として生きる力を伸ばす。

② 保護者対象進路研修会の充実を図り、進路に関する情報提供を丁寧に行う。

・高等部 : 挨拶に取り組んだ。郵便局などでの実践の説明

・小学部 : 「生きる力」の指導の中で清掃に取り組んだ。

個に応じた授業の実践

・支援連携: みどり相談室で保護者への情報提供

: 地域の保護者対象の進路研修会を行う。地域の支援級保護者への情報提供。

(4) 地域等との協働

① 地域の各種団体と連携し、児童生徒が地域で活躍できる場面を増やす。

② 近隣小中学校、高等学校と連携し、交流や巡回相談等を通じて地域の障害理解を促進する。

・支援連携: ピンクシャツへの取り組みに参加、作品展示等、東本郷小との交流の内容の説明

(5) 学校管理学校運営

① 校舎内外の機能改善を行うとともに、校内環境の整備を進める。

② スクールバス内における安全に対する取り組みを強化する。

・安全管理: 駐車場の整備災害活動マニュアルの更新

・教育推進: バスコース4コースの設定と配慮事項の引継ぎ、アフターコロナの取り組みの継続

【質疑応答】

A: 保護者から何か意見はあったか？

D: 保護者からは進路は決まってくのか心配する意見がある。(私の息子の件では)先生方がよくやってくれて決まった。高等部からみどり支援に入って、専門性のある先生方が叱った後にどのようにすればいいか上手に対応してくれたことで成長した。

B: 進路研修会について。みなさん熱心に参加してくれた。就労先の立場として、小中学校時代から取り組んでいくことが大事だと思うので、今後も周りを巻き込んで学校と協働していきたい。

E: 進路先だけではなく、放デイ事業所としても経営しているが、子どもたちは学校や家庭のことを引きずってきている。子どもたちは自分を素直に出して表現しているが、徐々に学習の成果か時間経過か分からないが仕事に向き合うようになってくる。学校で気持ちがいっぱいになることも多いので、どこかで発散することも大事。

A: みどり支援の実践では、地域への支援の広がりも意識して行っているで継続していくと良い。

F: ピンクシャツデーの取り組みの中で協働してきた。自分の言いたいことを言える場所があるとよい。

C: みどり支援学校との交流で帰ってきた子どもたちが楽しかったと報告してくれている。来年度は3年生にも広げたい。目的意識や一緒に楽しめるようにはどうすればよいかなど、子どもたちに課題解決の力がついてきた。得るものが大きい。

A: 相談件数が減ってきたのはホームページの更新などアピールしていくと良い。

A: 学校運営での学校としての課題は？

学校: スペースが少なく活動が制限される。今年中庭の整備をしてきたがまだ足りない。

	<p>○ 学校教育計画「4年間の目標」に対する取り組みの達成度評価及び令和6年度以降のグランドデザイン</p> <p>【意見聴取・質疑応答】</p> <p>A:ロードマップがあって毎年何をするのか分かるといいが…実際は難しい。</p> <p>B: なぜ、進路に関する目標は達成できなかったのか？</p> <p>学校: 掃除の指導を小から高等部までで取り組もうとしたが難しかった。各学部で取り組んだが、系統立てるところまでは難しかった。</p> <p>B: 清掃を系統立てているのなら、清掃検定にも是非参加して指導の成果として取り組んでもらうといい。</p> <p>学校:清掃には取り組んではいるが、検定の内容までには至っていない。</p> <p>○グランドデザイン、学校教育目標(案)</p> <p>学校:年代別の協議を行った。(別紙参照)</p> <p>学校:みんなで考えたグランドデザインにしたいと思っている(別紙参照)キーワードが出てきたところを中心に据えたい。学校の目指す姿として5つのキーワードを中心に据えたい。</p> <p>C:3つの資質能力を教育活動に入れる(見える)と良いのかなと思う。キーワードは素晴らしい。</p> <p>B:主体的な視点が大切だと思う。客観的ではなく子どもたち自身の視点でいい。みんなでチャレンジも大事だと思うが、個別に一人ひとりチャレンジすることも大事では。</p> <p>A:解説する文章も一緒に出すといい。</p> <p>C:個々に頑張っているのは、集団でチャレンジの中に入っているのは理解できる。</p> <p>F:目標は立てるとそのあと忘れやすいので簡単なものが良い。目標のイメージがあると子どもたちも分かりやすい。(難しいが)</p> <p>A:教室で飾って、子どもたちや教員がいつも見て意識できると良い。</p> <p>C:キーワードが分かりやすいのがいい。子どもたちが自分たちで分かる。</p> <p>D:漫画やキャラクターで分かりやすくすると、子どもたちが分かりやすい。</p> <p>学校:分かりやすい言葉で作り変えた。学校目標をみんなで共有できるようにキーワードを設定した。</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>①令和5年度第3回次第</p> <p>②令和5年度学校評価アンケート集計結果(保護者・教職員)</p> <p>③令和5年度学校評価報告書(総括評価)</p> <p>④パワーポイント資料</p> <p>⑤学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表</p> <p>⑥キャリア別グループ協議 結果</p> <p>⑦学校のグランドデザイン(現行・次期)</p> <p>⑧令和6年度以降の4年間の学校目標</p>